

(別紙) 応募用紙「土木広報大賞 2021」

団体名：川田工業株式会社、一般社団法人ツタワールドボク			
応募部門 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> イベント部門	<input checked="" type="checkbox"/> 映像・メディア部門	<input type="checkbox"/> 広報ツール・アイテム部門
	<input type="checkbox"/> 教育・教材部門	<input type="checkbox"/> 商業広告部門	<input type="checkbox"/> 企画部門
土木広報活動または作品名：橋梁架設見学イベント「かける北九州」～国内最大クレーンで「かける」瞬間を共有する			
広報活動または作品の概要			
<p>■イベント概要 参加した市民が新しく架かる橋を通して、発展していく地域とそこで働く土木技術者の存在をより身近に感じ、そして橋梁への興味を促すライブ感のある市民向け見学イベント。地元神社（豊山八幡神社）と橋梁メーカー（川田工業(株)）が連携したコラボ企画。</p> <p>■具体的なイベント内容</p> <p>①大型クレーン（1250 t）による鋼橋夜間一括架設を、隣接地に設営した特設会場から間近に見学できる一般市民向け見学イベントを開催。</p> <p>②地元神社の協力により、架設当日に市民が見守る中での作業員全員参加の安全祈願と、地元市民の想いや願いを書いた絵馬を鋼桁と一緒に架設することで、「橋を架ける」と「願いをかける」を達成。</p> <p>③特設ステージでは進行役と橋梁メーカー社員が、大型ビジョンに映し出される架設状況の映像にあわせて、刻々と変化する架設状況の解説や構造的な特徴、設計時の苦労話など、ライブ風に軽快なトークで説明。参加者に飽きさせない仕掛けと、橋梁に対する興味をより惹きだす。</p> <p>④一括架設の2週間前にはプレイベントとして、工事に携わる作業員が主体となって、大型クレーンや高所作業車の搭乗体験イベントを開催。市民への一括架設への興味や期待感を醸成。</p> <p>⑤橋梁架設の魅力を拡散するために、今回の一括架設を中心に、事業の意義や設計部門の苦労なども含めたドキュメンタリー映像をYouTubeで公開。川田工業(株)ではリクルート活動に活用。</p>			
広報活動または作品の効果			
<p>参加した市民は、迫力のある橋梁架設を間近で見学することと、大型スクリーンに映し出される詳細な作業状況をリアルタイムで感じるにより、会場全体に一体感が生まれていた。参加者を飽きさせないライブ風の軽快なトークにより、参加者の興味を惹きだし満足度の高いイベントとなった。当日は気温が低く寒い中での見学会であったが、ほとんどの参加者が架設完了まで参加していた。</p> <p>また、参加者が見守る中での作業員全員による安全祈願では、作業員の安全に対する真剣な空気感と、普段は味わうことのない市民からの多くの声援を受けた作業員の気持ちが引き締め、現場の熱気が一段と高まった。事前に実施したプレイベントも高い満足度があり、参加者からは「本番の架設を楽しみにしている」とのコメントを多くいただいた。</p> <p>■活動の成果・11/30 架設見学会参加者：約 300 名 ・11/16 プレイベント参加者：約 200 名</p> <ul style="list-style-type: none">・奉納絵馬数：374 枚・ツイッター書き込み：多数 #かける北九州・報道：西日本新聞 電子版、日刊建設工業新聞 公式ブログ・ドキュメンタリー動画を YouTube で公開：1 万回を超える再生数(2021 年 10 月現在) <p>(ドキュメンタリー-動画) https://www.youtube.com/watch?v=b0YE6OQEudk</p> <p>(見学会記録) https://www.youtube.com/watch?v=cWimxAMLo7I&t=132s</p> <p>→動画を活用したリクルート：今回の選考試験受験者 55 名のうち 26 名が、川田工業を知ったきっかけとして[動画]と回答。2 次利用ツールとして効果を発揮</p>			